

3.1.3 情報セキュリティネットワークユニット

目 標

情報通信による国民の安全・安心を目指して、その基盤となる情報セキュリティ技術に関し、NICT 関係部門が展開している基礎から応用までの研究開発プロジェクト間の横の連携を図るとともに外部機関との連携を推進し、効率的なオールジャパンの研究開発体制を確立することを目標とする。

目標を達成するための内容と方法

プロジェクトの推進: 情報セキュリティに関する研究開発プロジェクトの支援、プロジェクト間及び外部機関との連携、成果の発信を推進する。また、研究開発の推進に当たっては、外部の有識者からなる情報セキュリティ研究サポート会議を開催し、総合的な研究開発の方向性の検討、外部機関との連携強化、迅速な成果展開を促進する。

特 徴

総務省の指導の下、積極的に政策課題に取り組むとともに、国際標準化への参画、大規模研究開発施設を利用した実証実験等を通じて、我が国の情報セキュリティの向上に向けて、国際的な連携強化と成果の迅速な還元を推進する。

今年度の計画

(1) 平成 16 年度の関連プロジェクトの進捗状況、課題の把握

① 情報通信危機管理基盤技術の研究開発

ア 災害時等に必要なる非常時・重要通信技術及びサイドチャネル攻撃等の実証実験

イ サイバー攻撃対策技術、高度セキュアサービスプラットフォーム構築技術、コンテンツ利用の安全性を向上させる技術等の基礎検討

ウ 新しい原理の公開鍵暗号、共通鍵暗号及び秘密分散等の暗号プロトコル等の理論研究

② ネットワークセキュリティ技術の研究開発

ア 大規模ネットワークセキュリティの確保

イ アナログ耐性を持つ電子透かし技術

ウ 暗号モジュールの評価・構築・流通基盤技術

エ 安全・安心なネットワークの管理・運用技術

(2) 中期計画通期での成果の総合的取りまとめ

(3) 次期中期目標、計画の検討

今年度の主な成果

(1) 情報セキュリティユニットの活動計画を立案した。

(2) 総務省、学識経験者、ISP、メーカー、OS・セキュリティソフトのベンダーなど総勢 30 名規模のサポートメンバー会議を開催した。

(3) 科学技術振興調整費における共同研究を通じ、情報セキュリティ研究機関との連携を強化した。また、本件に関する研究開発について、慶應義塾大学、産業技術総合研究所、情報処理推進機構と共同で情報セキュリティ戦略シンポジウムを 3 月に開催した。

(4) 次期中期計画の検討に着手した。